

職場体験レポート

作成者

松山市立勝山中学校

2年 氏名：橋本 莉一



職場の紹介 松山中央消防署

創業：昭和50年11月開設
住所：松山市本町
特色：24時間体制で災害から市民を守る
従業員：109人（2中隊）

人の命を助ける仕事なので毎日大きな声が響き渡っています。また、どの職員の方々も元気で明るいです。

事業所の写真



職場で体験したこと



職場での一日（1日目の例）

- ①救助訓練：ガスマスクなどを付けて、実際に人を相手に訓練を行いました。
- ②昼食作り：消防士は短時間で調理し昼食をとらないといけないので、麺の昼食を作りました。
- ③上級救助講習：三角布を使って止血の仕方を教わりました。

最終日にははしご車に乗りました。この体験で乗ったのは、50m伸びるはしご車でした。僕たちは25mのところ（消防署の屋上と同じ）まで上がりました。25mのところまでだけとても高く、風で揺れ、救助はとても大変だと改めて感じました。

また、見学するときの座り方も教わり、見学するときの体勢はとてもきつくて、身をもって消防士の仕事の大変さを実感することができました。通信司令室に119番通報が入ると素早く人の命を助けに行くとてもやりがいのある仕事であり、責任の大きい大変な仕事でもあると思います。



体験学習を通して

うれしかったこと、うまくできたこと

一番難しかった上級救命講習での心臓マッサージが、何度も練習しているうちに少しずつ上手にできるようになりました。練習を積むことで、難しいと思われることであってもできるようになるということがわかって自信ができました。

大変だったこと、失敗したこと

初日にあった救助訓練で、僕たちは最初レスキュー隊の人たちの勢いに飲まれてしまい、何もできませんでした。けれど、何度も声を掛けていただいて、最後には職場体験に参加した全員で力を合わせて救助作業をすることができました。



感想

働く人の姿から学んだこと

いつも消防署の方は、いつでも出動できるような準備をしていました。そのために何度も訓練していたので、準備するということは大切なのだと強く思いました。

全体を通して学んだこと

僕はこの職場体験では、たくさんの大切なことを学習することができました。そして、働くことの大切さを学習することができました。また、この5日間で絆の大切さと、仕事に対して自分から積極的に行うということが大切であるということがわかりました。

